

日本生物学的精神医学会 2013 年度「若手国際交流プログラム」公募のご案内
2013 年度前期の国際学会発表奨励賞の公募について
第 35 回日本生物学的精神医学会
(11th World Congress of Biological Psychiatry と合同開催)

武田雅俊 (理事長)
武田雅俊 (理事長)
尾崎紀夫 (大会長)

日本生物学的精神医学会
2013 年度「若手国際交流プログラム」
公募のご案内

日本生物学的精神医学会
理事長 武田雅俊

本年度も昨年度に引き続き、韓国、台湾、香港の各生物学的精神医学会に参加して研究発表をする若手研究者を公募いたします。会員の皆様におかれましては、本プログラムの趣旨をご理解の上、多数ご応募いただきますようご案内申し上げます。

趣 旨：本学会は、アジア地域における精神医学領域の研究の発展と交流を促進するために、韓国、台湾、香港の各生物学的精神医学会との間に「若手交流プログラム」を締結いたしました。この取り決めに基づいて、日本と韓国、日本と台湾、日本と香港の各生物学的精神医学会は、それぞれの年次学術集会に若手研究者 2 名以内をお互いに招聘することになっております。日本生物学的精神医学会には韓国、台湾、香港の各生物学的精神医学会からそれぞれ若手研究者が来日し研究発表をすることを予定しておりますが、これに対応する形で、韓国、台湾、香港の各生物学的精神医学会に参加して研究発表をしていただくために若手研究者を派遣するものです。

応募資格：申請日現在に 40 歳以下の本学会会員であること。

応募方法：次の書類を日本生物学的精神医学会事務局気付、国際交流委員長 (jsbp@asas.or.jp)宛に Email 添付でご提出下さい。

- 1) 応募用紙 (書式不問・以下 A～H 全てを記載)
A. 氏名, B. 申請時の年齢, C.

所属, D. 連絡先, E. 派遣希望国, F. 応募の背景と理由 400 字以内, G. 英文発表予定演題名, H. アブストラクト 300word 以内)

- 2) 履歴書および業績目録 (書式不問)
- 応募期限 各国 BP 学会の年次学術集会の 3 ヶ月前
- 募集人員 本年度は、韓国、台湾、香港への各最大 2 名で合計最大 6 名の派遣を予定しております。
- 学会日程 韓国、台湾、香港の各学会年次学術集会の開催日と場所は、各学会に直接ご確認下さい。
- 賞の内容 選出された若手研究者は、韓国、台湾、あるいは香港の各生物学的精神医学会の学術集会いずれかに招聘され研究成果を発表するとともに、渡航滞在費として各 USD 1,000 の支給を受ける。
- 選考方法 会員に対し公募を行い、国際交流委員会にて候補者を選出し、理事会にて決定。
- 結果通知 理事会決定後、本人宛に通知いたします。
- 以上

2013 年度前期の国際学会発表奨励賞の
公募について

日本生物学的精神医学会
理事長 武田雅俊

2013 年前期 (4～9 月) に開催される国際学会での発表者を対象として下記の要領で標記賞受賞候補者の募集を行いますので奮って応募 (推薦) して下さいようお願い申し上げます。なお、評議員の先生方には推薦用紙が送付されます。

記

1. 規定 以下のとおり
2. 推薦要領 推薦用紙, 評価の参考となる資料 (抄録・サーキュラー・学会プログラム等) 8

部を同封し、以下送付先宛ご送付下さい。

3. 送付先 〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13
学会支援機構内
日本生物学的精神医学会理事長
4. 応募締切日 2013年7月1日(月) 必着

以上

日本生物学的精神医学会 国際学会発表奨励賞規定

1. 設置 日本生物学的精神医学会は規定により研究奨励賞(国際学会発表制度)を設ける。
2. 名称 名称は、日本生物学的精神医学会国際学会発表奨励賞とする。
3. 対象 原則として応募時年齢35歳未満の会員で、国際学会に参加し、将来性のある優れた研究を発表する者に贈られる。対象となる学会および発表される研究内容については選考委員会が評価を行う。
4. 表彰 研究奨励賞は賞状および副賞とし、副賞は15万円とする。
5. 募集 募集は年2回行う。前期は当該年度4～9月の間に、後期は当該年度10～3月の間に開催される国際学会に参加する者を対象とする。
6. 選考
 - 1) 研究奨励賞を選考するために本学会内に選考委員会を設ける。
 - 2) 選考委員は理事・評議員より理事会で選出する。委員長は委員の互選により決定する。委員は6名とし任期は2年とする。再任は妨げない。
 - 3) 選考対象者と同一講座(大学以外の機関はこれに準ずる部局)に所属する選考委員は、その年度の選考には加わらないものとする。

- 4) 選考委員会は受賞者を決定し、委員長は該当者なしの場合も含めて理事長に報告する。委員長は年会の際に開催される理事会に選考経緯および結果を、また評議員会に選考結果を報告する。

付則

- (1) 本規約は1999年4月22日より施行する。

第35回日本生物学的精神医学会 (11th World Congress of Biological Psychiatry と合同開催)

ウェブサイト <http://www.wfsbp-congress.org/>

会期 2013年6月23日(日)～27日(木)

会場 国立京都国際会館
京都府京都市左京区宝ヶ池

会長 尾崎紀夫
(名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・
親と子どもの心療学分野教授)

プレナリーレクチャー

- Interface of psychosis and depression in translational psychiatry
Akira Sawa, USA
 - Goodbye Kraepelin : Schizophrenia as a disorder of regenerative capacities of the human brain
Peter Falkai, Germany
 - Executive & social functions and the frontal lobes : New concepts and implications for psychiatry
Facundo Manes, Argentina
 - Inborn errors of metabolism in psychiatry
Frederic Sedel, France
- 詳細は本号掲載のWFSBPだよりをご参照下さい。